

第49回日本国語教育学会西日本集会広島大会（二次案内）

日時 2025年6月14日（土）10時～17時30分

開催形式・場所 対面・広島大学教育学部（〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1）

主催者 主催 第49回日本国語教育学会西日本集会広島大会実行委員会
共催 日本国語教育学会
後援 広島県教育委員会 広島市教育委員会 東広島市教育委員会

大会テーマ

ほんものの学びに夢中になり、互いのかかわりを生み出す国語教育を求めて

大会プログラム

●9時30分～ 受付

●10時～12時15分 実践発表分科会

分科会①小学校1（文学）

発表者1 木下恵介（福山市立春日小学校）「文学体験を核とした「ニャーゴ」の授業—お話の続きを考えよう—」

発表者2 下畦恵美子（呉市立宮原小学校）「リテラチャーサークルによる文学的文章との出会い—児童が夢中になって読む「海のいのち」「大造じいさんとガン」—」

指定討論者 住田勝（大阪教育大学）・福田菜津美（広島県教育委員会）

分科会②小学校2（ことば）

発表者1 小泉芳男（広島市立袋町小学校）「「自分事の学び」を創る説明的文章の授業～国語学習サイクルでの学びを通して～」

発表者2 阿部慶子（福山市立蔵王小学校）「文学教室における「主体」の生起—「他者」との出会いを通して—」

指定討論者 富安慎吾（島根大学）・中井悠加（島根県立大学）

分科会③中学校1（文学）

発表者1 瀬津田芳子（広島市立古田中学校）「想像力でいにしえの人の心に触れる授業作り～漢詩の創作を通して～」

発表者2 西村尚久（広島大学附属三原中学校）「受容と共感の力を育むための国語科授業」

指定討論者 下田実（比治山大学）・横岡洋子（広島県教育委員会）

分科会④中学校2（ことば）

発表者1 山中すみれ（三次市立三良坂中学校）「論理の展開を考えて書く能力を育む国語科学習指導の工夫—「読むこと」と「書くこと」を関連付けた単元の開発を通して—」

発表者2 有木基子（東広島市立八本松中学校）「子どもが「ことば」にこだわり、夢中になる俳句の指導—「ミニ俳句甲子園」の取組を通して」

指定討論者 植山俊宏（京都教育大学）・伊木洋（ノートルダム清心女子大学）

分科会⑤高等学校

発表者 1 枝長幹大（広島県立五日市高等学校）「自身の価値観を捉え直す概念型授業の実践―「模倣」の意義を考える―」

発表者 2 綱川和明（広島県立広島国泰寺高等学校）「PBL 形式の読むことの学習とシナリオの作成に関する研究」

指定討論者 大滝一登（安田女子大学）・岡田真由（広島県教育委員会）

分科会⑥連携 1（小中連携）

発表者 1 有松浩司（竹原市立忠海学園）「義務教育 9 年間の系統性を生かした国語科の学習指導の在り方」

発表者 2 重廣孝（竹原市立吉名学園）「文学の授業における小中連携・接統一文学体験の成立に着目して―」

指定討論者 森美智代（福山市立大学）・矢原豊祥（東広島市立志和小・中学校）

分科会⑦連携 2（中高連携・探究）

発表者 1 竹舛さやか（ノートルダム清心中・高等学校）「学び合う場としての学校図書館～読書指導と複数資料の比較～」

発表者 2 白井大介（広島県立広島叡智学園）「概念理解を軸とした指導実践例」

指定討論者 山田和大（尾道市立大学）・河野智文（福岡教育大学）

●13 時 30 分～15 時 30 分

シンポジウム 今、読むことの学習指導論として

「読者論」「読者反応論」をどう問い直すか

司会者 吉田裕久（安田女子大学）

登壇者① 難波博孝（安田女子大学）「「読むこと」そのものの呪縛と革命性」

登壇者② 間瀬茂夫（広島大学）「現象学的読みと解釈学的読みの両立へ」

登壇者③ 山元隆春（広島大学）「深く読むことに夢中になる能力を育む―「情報駆動」の強まる社会のなかで―」

●15 時 50 分～17 時 30 分 全体会

講演① 川口隆行（広島大学教授）

講演② 桑原 隆（筑波大学名誉教授・日本国語教育学会会長）

参加費 大会参加費 一般 3000 円／学生 1000 円

懇親会参加費 一般 4000 円／学生 2000 円

申込方法 当日受付もいたしますが、できる限り下記 url もしくは QR コードからお申し込み下さい。

<https://bit.ly/4jtMlrF>



問い合わせ先 第 49 回西日本集会広島大会実行委員会事務局
間瀬茂夫(smase@hiroshima-u.ac.jp)
東広島市鏡山 1-1-1 広島大学教育学部 Tel.(082)424-7056

大会ホームページ <https://bit.ly/4j5H7If>

